

NIIの機関リポジトリ推進事業を 振り返る

国立情報学研究所

平成25年10月2日

さまざまな推進事業

1. CSI委託事業（H17～H24年度）
2. IRDB / JAIRO 開発・提供（H20年度～）
3. JAIRO Cloud 開発・提供（H23年度～）
4. 委員会活動

1. CSI委託事業

- 従来からNIIが行ってきたコンテンツ関連事業の継承、拡充のため、IR構築と各大学間連携を支援
- 資金援助とコミュニティ形成により日本の大学のIR構築を大きく推進

委託機関・プロジェクト数

	領域1	領域2	領域3
	IR立ち上げ支援	先駆的な研究開発	学術情報流通コミュニティ活動支援
第1期(H17-H19)	89	22	—
第2期(H20-H21)	142	21	—
第3期(H22-H24)	37	8	6

第1期

領域2

1. T2R2 システムの開発
2. XooNlps Library モジュールの開発と普及
3. 学習・教育支援のための統合的情報システム環境の開発
4. 学内の各種データベースのゆるやかな結合による統合検索
5. 機関リポジトリコミュニティの活性化
6. 機関リポジトリの評価システム
7. 主題マップによるナビゲーション
8. 多様なタイプの情報資源の蓄積・交換の推進
9. 典拠ディレクトリシステムの構築
10. 電子出版システム(編集査読システム)の開発

11. 著作権ポリシー共有機能
12. 業績データベースとの連携
13. 研究コミュニティ創出支援
14. リンクリゾルバ対応システムの開発
15. リポジトリ登録・管理システムの開発
16. 平和学リポジトリの構築
17. OneWriting & MultiOutput システムの開発
18. 数学文献アーカイブの構築と公開(数理解析研究所講究録)
19. 学内既存データベース及び認証基盤システムとの連携による登録負荷軽減システムの開発
20. 教育系サブジェクトリポジトリとしての展開
21. 教育成果に重点をおいたコンテンツ作成
22. 国際的協力(国際シンポジウムの企画)

領域2, 3プロジェクト

第2期

領域2

1. Tokyo Tech Research Repository(T2R2)システム開発
2. XooNips Library モジュールの開発
3. 機関リポジトリを中心とした学習・教育、研究環境向上のための統合的情報検索システムの開発
4. 機関内学術情報資源の統合検索
5. 機関リポジトリコミュニティの活性化
6. 機関リポジトリの評価システム
7. 主題マップによるナビゲーション

8. 多様なメタデータの[相互]交換
9. システム間連結のための著者名(典拠)ディレクトリ開発
10. 電子出版システム(編集査読システム)の開発
11. 国内学協会等の著作権ポリシー共有・公開プロジェクト
12. 業績DB・IR連携プロジェクト
13. 研究者一情報の共進化型コミュニティ創出支援
14. リンク・リゾルバを通じた機関資源へのアクセス

第3期

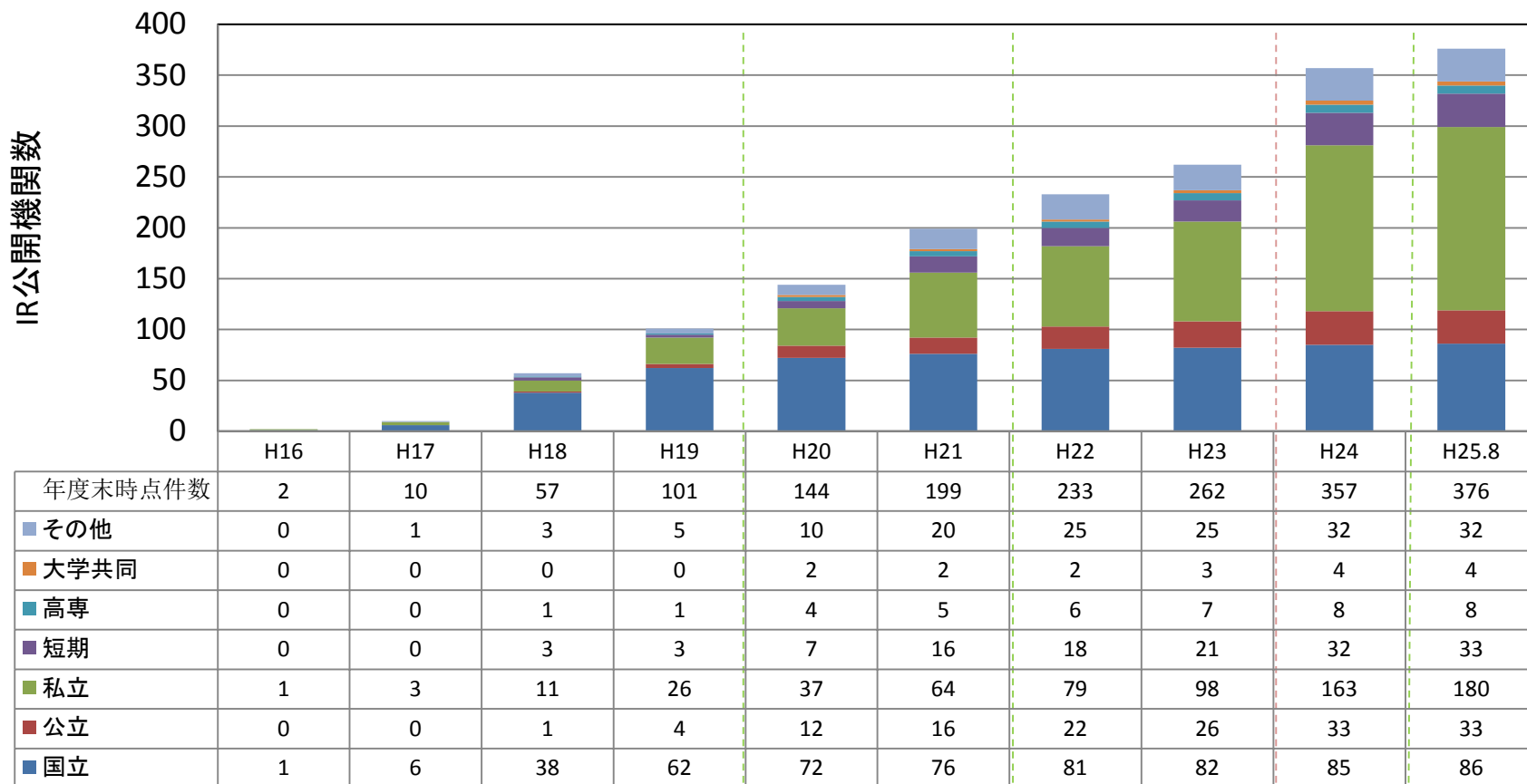
領域2

1. 数学ポータル構築
2. 機関リポジリアウトプット評価の標準化と高度化
3. 全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト
4. オープンアクセス環境下における同定機能導入のための恒久識別子実証実験
5. クラウド環境における電子出版・リポジトリ連携実証実験
6. 文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発
7. 新 XooNips の開発 /Library モジュールの開発と普及
8. 博士論文発信支援パッケージ開発プロジェクト

領域3

1. 機関リポジトリコミュニティ活性化のための情報共有
2. オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト(SCPJ プロジェクト3)
3. 機関リポジトリ担当者の人材育成
4. 近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援
5. 機関リポジトリ地域コミュニティの活性化
6. 名古屋・東海地区における機関リポジトリコミュニティ形成の支援

IR構築数の推移



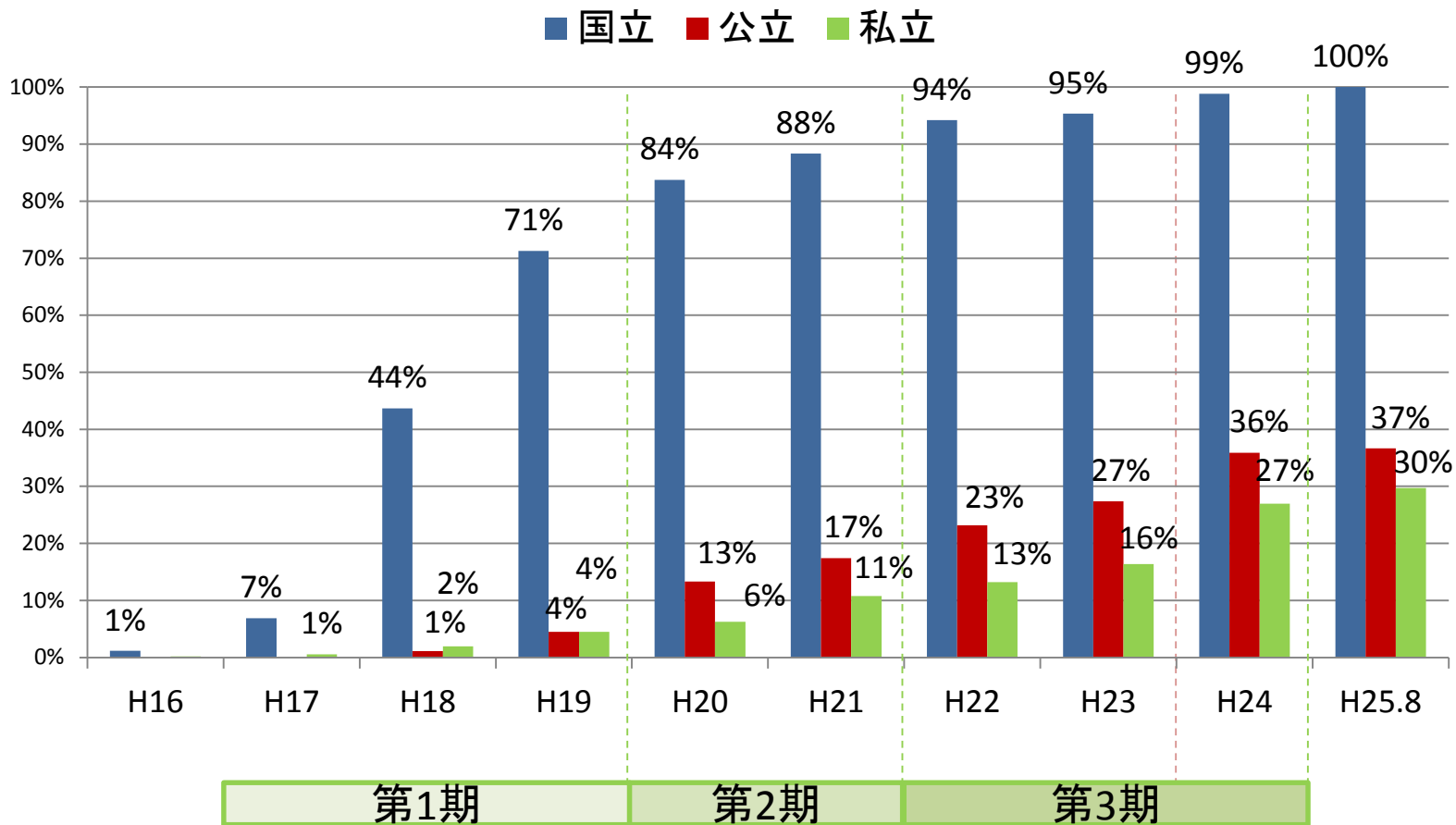
第1期

第2期

第3期

JAIRO Cloud開始

IR構築率



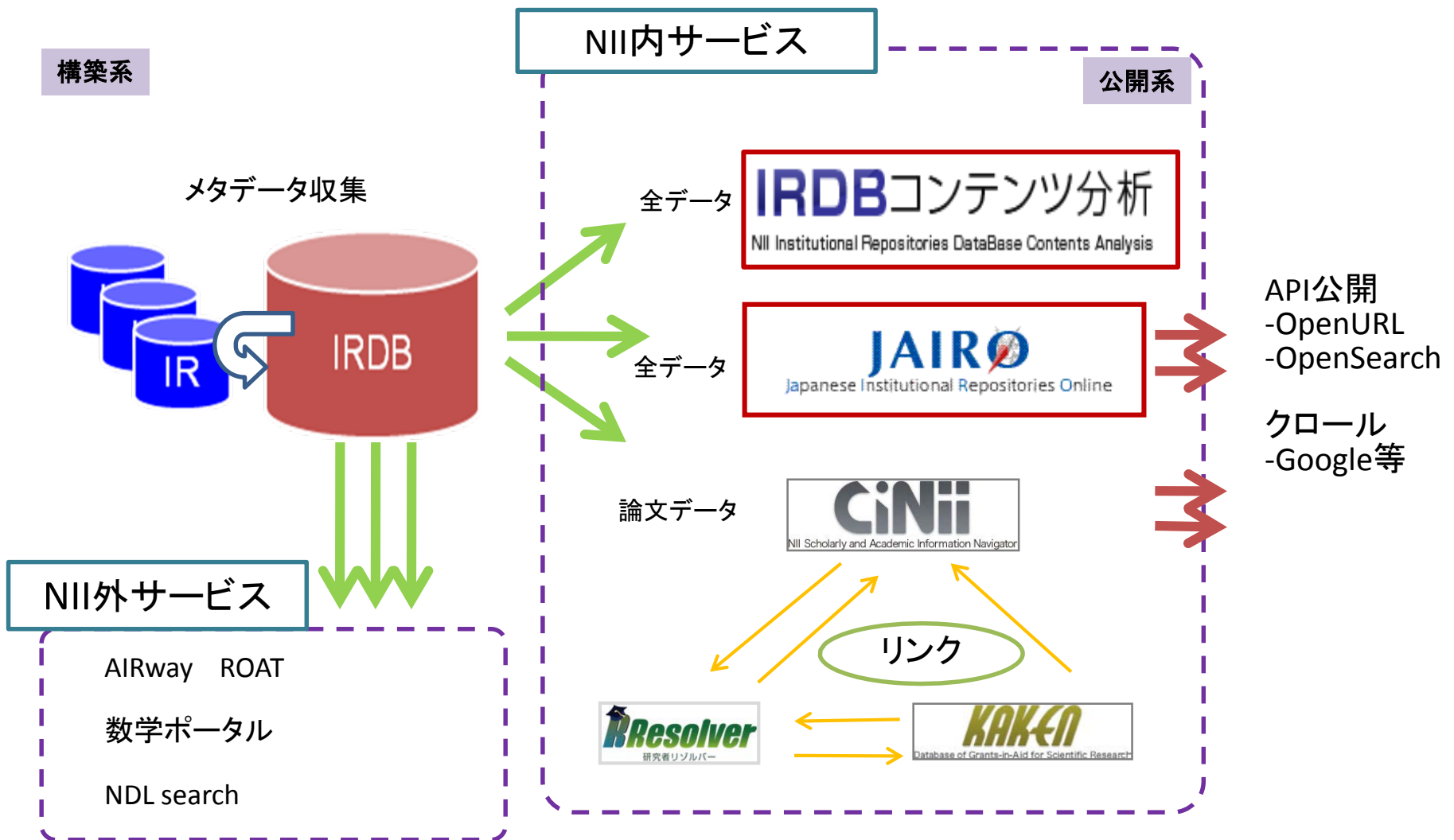
JAIRO Cloud開始

シンポジウム開催等

年度	
H16	学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト報告会
H18	「デジタル巨人の肩の上に立つ」国際シンポジウム
H19	DRFIC 2008
H20	SPARC Digital Repositories Meeting 2008
H21	DRFIC 2009
H22	SPARC Digital Repositories Meeting 2010 シンポジウム「大学からの研究成果オープンアクセス化方針を考える」 機関リポジトリのアクセス数をいかに数えるか？ ～カウント方式の標準化に関する国際会議～
H23	共用リポジトリサービスに係る説明会
H24	JAIRO Cloud システム講習会

他に、CSI委託事業報告交流会、DRFワークショップ等多数開催

2. IRDBとJAIRO



3. JAIRO Cloud

NIIが開発・提供する機関リポジトリのクラウドサービス

- 独自でリポジトリの構築・運用が難しい大学等に対して、各機関によるコンテンツの登載や公開を容易にする仕組み(平成24年度運用開始)
- 今後の機関リポジトリ推進のための既構築機関移行実験プロジェクトも実施中

共用リポジトリサービスにより

- 大学でのシステム運用負荷の軽減により機関リポジトリ数の拡大
- 必要な機能を備えたシステムで全体の効率化

学位規則改正

「印刷」から「インターネットの利用による」公表へ(平成25年4月1日施行)大学の機関リポジトリ

(NIIの共用リポジトリを含む)による公表が原則

- 電子版博士論文を公開する機関リポジトリがない大学について、JAIRO Cloud(共用リポジトリサービス)を提供
- 国立国会図書館の電子版博士論文収集のための各大学からのデータ提出をサポート

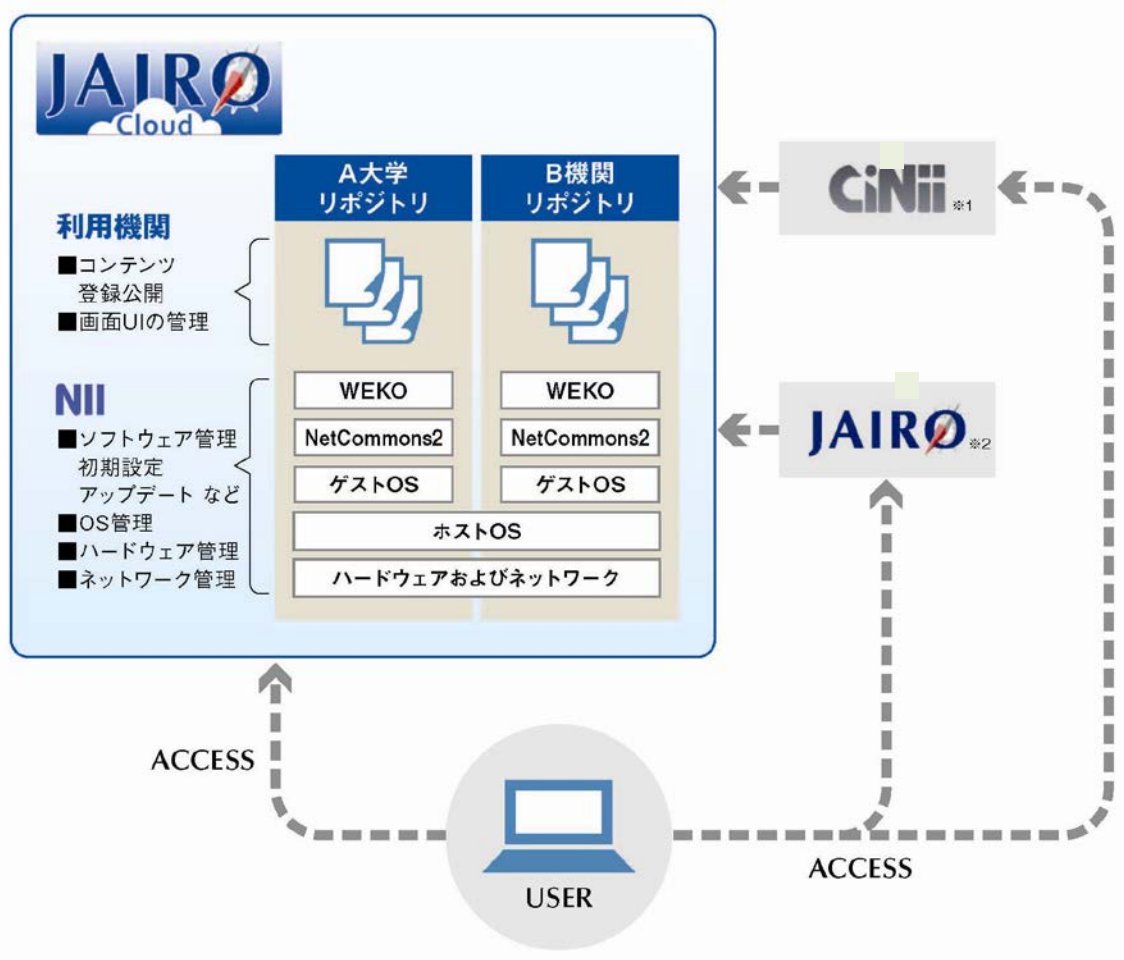
科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

「大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)」H21.7

▶ 2. 機関リポジリの今後の在り方と課題

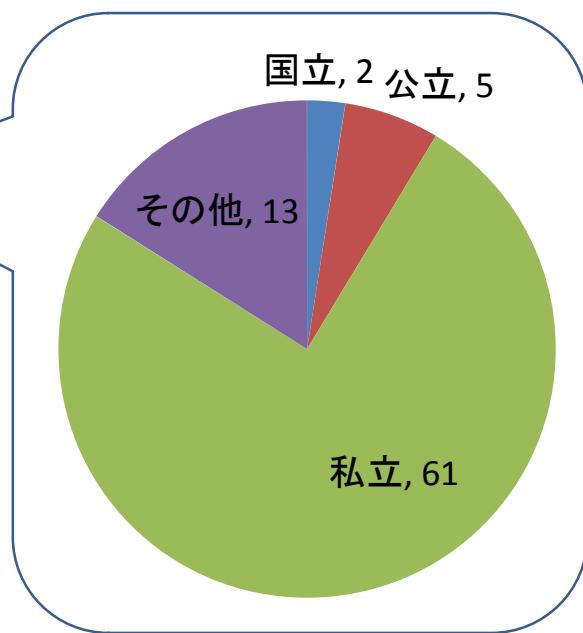
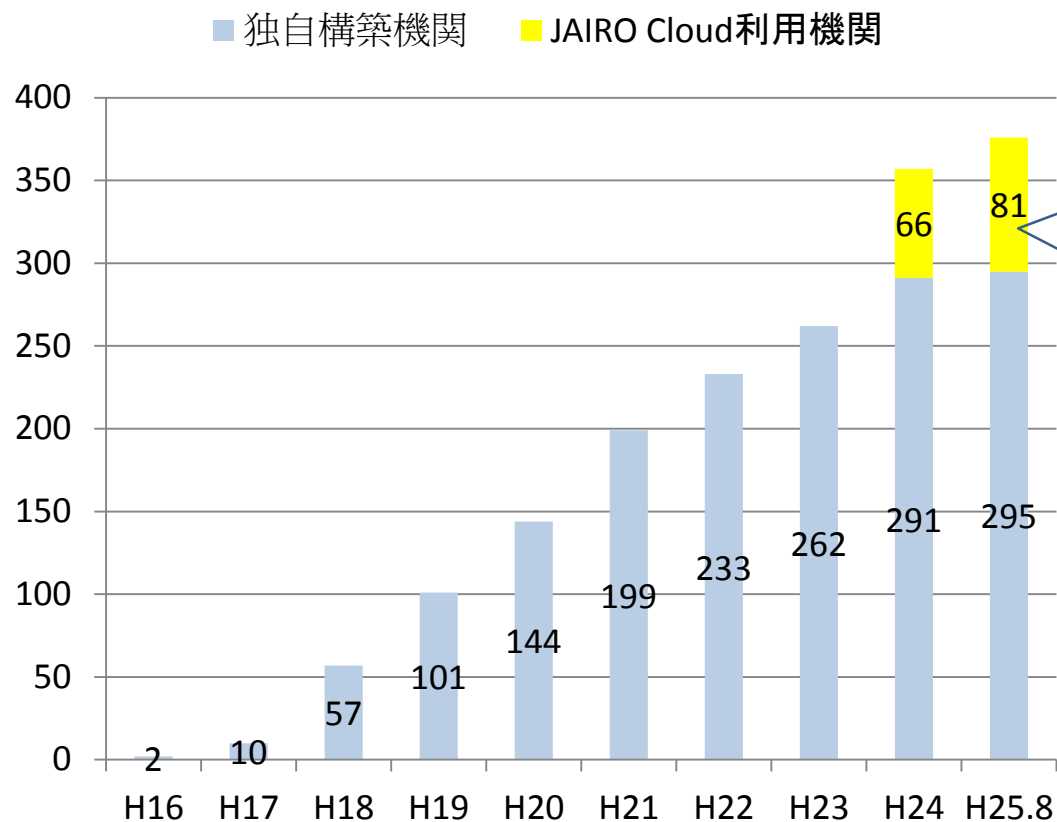
- ▶ 国立情報学研究所が大学等と連携して推進している機関リポジリの構築は、今後さらに充実し推進。
- ▶ 大学全体におけるリポジリ事業の位置付けの明確化、図書館業務としての定着、大学独自のシステムの構築と維持体制の整備などが課題。
- ▶ 事務体制や技術的な問題等により、独自でリポジリの構築・運用を行うことが難しい機関に対して、**共用リポジリのシステムを構築**し、リポジリへのコンテンツの登載や公開が容易になるような仕組みを早急に検討。
- ▶ http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1283003.htm

システムとサービス



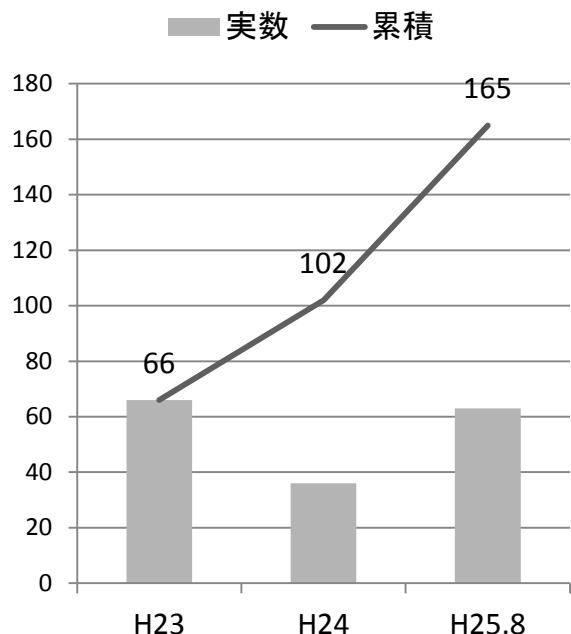
- ・ 当面、利用料は無償
- ・ 対象は、新規構築機関及び地域共同リポジトリ
- ・ 正式運用開始(平成24年4月)

機関数の伸び

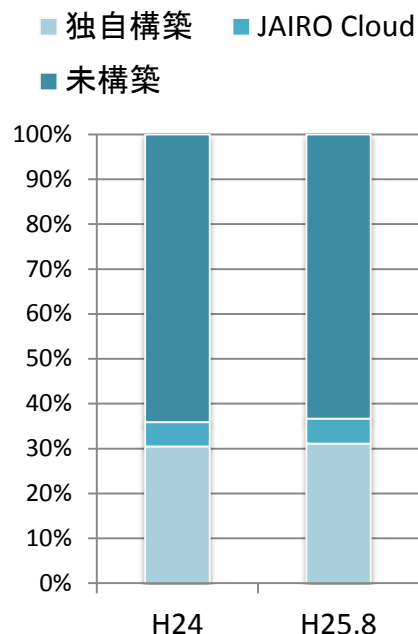


JAIRO Cloudはさらなる展開へ

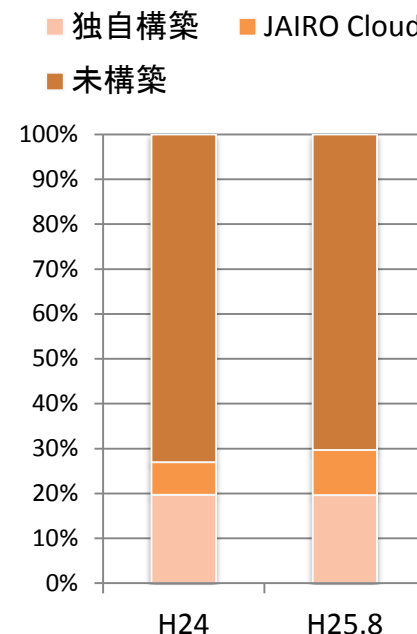
申請機関数



公立



私立



特に私立大学では、JAIRO Cloudの出現によって、構築機関が増えており、JAIRO Cloudは開発・整備の段階から、運用拡大の段階へ進んでいる。

4. 委員会活動

- 学術コンテンツ運営・連携本部 図書館連携作業部会
 - － 学術コンテンツ基盤整備への提案・助言
 - － CSI委託事業の選定・評価
 - － IR推進のための提案・助言

今後の方針

- JAIRO Cloudを中心として、過去の成果を取り入れつつ、研究データの管理や能動的学修支援という新たな課題に取り組んでいくための基盤整備を図書館といっしょに進めていきたい。



研究データ

能動的学習支援